

第 14 回高齢者排泄ケア講習会 アンケート集計結果

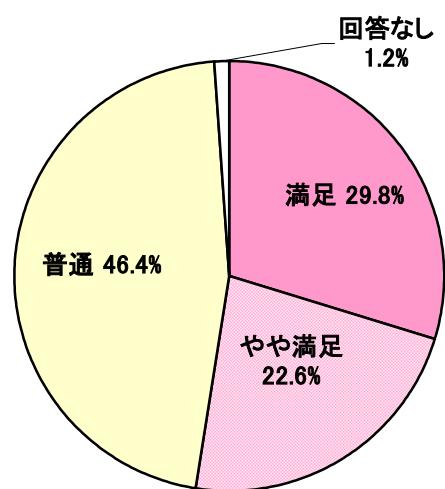
* H20.2.15(金) 実施

会場：福岡サンパレス

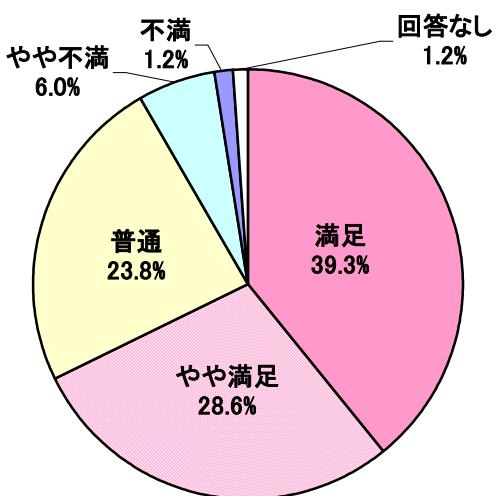
講習会参加者 107 名／アンケート回答者 84 名(回答率 78.5%)

アンケート① 本日の講習会の内容について

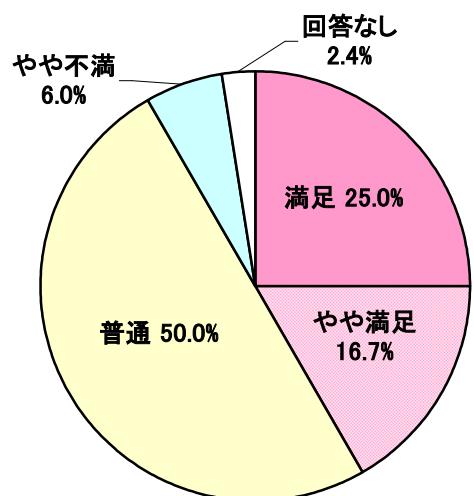
<基礎編>



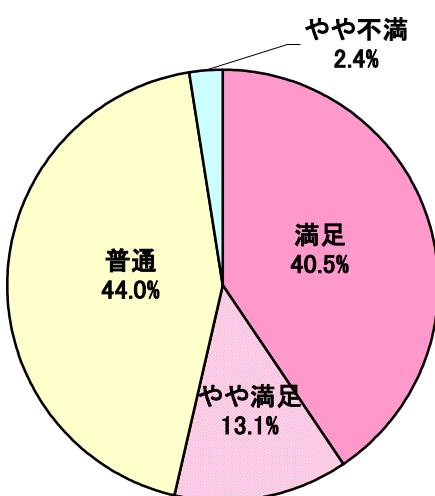
<応用編>



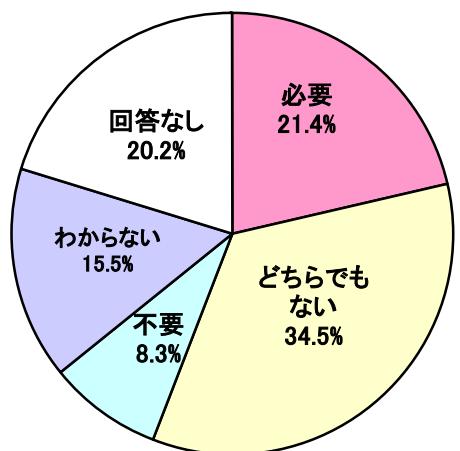
アンケート② 本日の講演時間について



アンケート③ 本日の講習会の会場について



アンケート④ 個別相談について



⑤ ①から④につきまして、具体的なご意見がございましたらご記入ください。

- ・ 基礎を教えていただいた友田先生にも、さまざまな事例を用いていただくと、今後の参考になったと思います。
- ・ 前半の講演は少し進行が早かったように思いました。時間があれば、ゆっくり説明してほしかった。実際使用している薬品名をあげてもらえるとわかりやすかったです。
- ・ 基礎編は声が聞き取りにくかったです。
- ・ 友田先生の講演はわかりやすい内容でしたが、話し方がやや早口で一本調子だったようで少し残念でした。下村さんの話は実際の体験で非常に興味深く伺えました。ありがとうございました。
- ・ 疾患については非常にわかりやすかったです。薬物など以外のリハビリなどの対応の仕方や訓練すべき点などの視点でも話が聞きたかったです。(認知症の人の対応は聞けて参考になりました)
- ・ 応用編は下村先生の経歴のお話が多く、講演会の「認知症の排尿管理方針」についてのお話はとても少なく感じました。
私は認知症の方の排尿管理の話が聞きたくて、今日参加しましたが、残念に思いました。もっと具体的な現場での話が聞きたかったです。
- ・ 応用編の宅老所のお話がとても具体的でいろいろな実例が聞けて大変おもしろかったです。
- ・ 応用編を聞いて、関わり方によって改善されるという考え方 改めて考え直しました。
- ・ 話が最後とびすぎた。
- ・ 応用編の講習は心にはいりました。一人の人を大切にを考えさせられました。接し方で自分自身の思い込みがあつたりすると感じました。
- ・ 認知症の方々の排泄をもっと詳しく(対応など)
- ・ 応用編の時間が足りなくなり、残念でした。もう少しお話が聞きたかったです。
- ・ 下村さんのお話をもう少し伺いたかったです。
- ・ 基礎編、応用編ともにとてもためになる内容でした。今回 初めて参加しましたが、また機会がありましたら参加させていただきたいと思います。
- ・ 質問のときに、講習会の課題と伴っていないことが…
- ・ もう少し詳しく知りたかったです(専門分野的なことが多すぎた?)。内容を深く深く勉強したかったです。
- ・ もっとつっこんだ、たくさん実際に起った出来事を聞きたいと思います。その中でたくさんのヒントが出てくると思います。
- ・ 排泄、食事は一生続くので、いちばん勉強したいことです。

- ・ 2つの講義で 1.5h は少し短いかもしれませんね。盛りだくさんでした。
- ・ 駐車料金のかからない会場にしてほしいです。
- ・ 駐車場無料券(サービス券)があるとうれしい。
- ・ スクリーンが見やすくてよい。
- ・ 会場の入口に表記がなく、入口がわからずウロウロしてしまったので、ホテルの入口あたりに会場への入り方などが表示してあったほうが良かったかな。

⑥ 今後、講習会で取り上げてほしいテーマやご要望がございましたらご記入ください。

- ・ 講習会に来られる施設などの研究事例発表をしてもらいたい。
- ・ 各施設、病院で排泄ケアに取り組まれている事例の発表があったほうがとても参考になるのではないかでしょうか。また、施設との懇親会等 どうでしょうか。楽しく学んでいきたいと希望しています。
- ・ 施設や病院での排泄に対しての取り組み
- ・ 多くの症例の具体的な対応例をお聞きしたいです。
- ・ 今日の応用編のように、具体的な現場のお話がたくさん聞けたらと思います。現場の問題点と対策を聞いて、自分の仕事に生かしていきたいです。
- ・ リハビリパンツやオムツでの尿便もれがあります。そこでその対策とパット等種類での対策 etc.のテーマを取り上げていただきたい。
- ・ 尿意は無いが立位がとれる高齢者の方の排泄ケアはどうしたらよいか？
- ・ 立位は少し難しいが、尿意・便意がはっきりしている高齢者の方の排泄ケアはどうしたらよいか？
- ・ HPー在宅(家庭復帰)までの個別的排泄アプローチ
- ・ 終末期の排泄について
- ・ ベッドサイドでの介助方法・ベッドサイドでの排泄ケアの方法
- ・ 切迫性の障害には環境設定や歩行訓練で歩行スピード up などのアプローチが考えられると思います。このように機能障害へのアプローチ以外の PT・OT が関わる 2 つ目の講演のような具体的な話が聞いてみたいです。
- ・ 寝たきりややむを得ず寝たきりにならざるを得ない方たちの排泄やオムツがはずせるか。現在もやむを得ずオムツをされているが、本人はトイレに行きたいと言われます。高齢者になればなるほどトイレに自立て行きたいと思われていると感じます。
- ・ してはいけないケア
　　実はエビデンスがなく、間違ったケアをしているケースなど。
　　個別相談で情報共有できる参考になるものがあれば知りたい。
- ・ 排便障害への対応
- ・ 高齢者の方は便秘の方が多く、下剤使用のため、水様便での排泄が多いように思います。できるだけ刺激性の下剤を使用せずに、自然排便で排泄することに焦点をあてたテーマでの講演をお願いします。
- ・ 頻尿アプローチ
- ・ 尿失禁について
- ・ 間質性膀胱炎

- ・自己導尿の必要性(中止してよい目安)
 - ・寝たきりで導尿カテーテル(留置バルーン)使用の方の衛生管理
 - ・前立腺肥大で手術された患者様の訴えの利点、欠点
 - ・認知症について
 - ・認知について具体的に知りたいです。
 - ・人間らしい生活とは何ですか？
- 認知症の方は何をやっても許されるのですか？
- 暴言・暴力に耐える方法を教えてほし！！！
- ・笑いについて・笑いのある生活・人間らしい生活・認知症と日常的な常識について・認知症の方に当たり前のことを言って悪いのか？
 - ・認知症の方への排泄、排便について
 - ・今日のようなショートステイ、宅老所の話などもっと聞いてみたい。
 - ・患者様とスタッフのふれあいの話が聞きたいと思います。
 - ・介護における介護士の人間性と介護士としての人間教育について
 - ・精神疾患について
 - ・先日 市民公開講座での質問のまとめを送っていただいた中からいろいろとためになる資料がありました。その中から選んではどうかな？と思います。